

みやま新聞

編集・発行
大分県立
玖珠美山高校
新聞部
編集責任者
小野 香菜

交流深まる歓迎遠足 生徒会企画も大盛り上がり

四月十七日(金)、
伐株山にて歓迎遠足が
行われた。山頂では、
生徒会企画の、人数合
わせ、ジェスチャーゲ
ーム、宝探しが開催さ
れ、大きな盛り上がり
を見た。

四月十七日(金)、歓迎
遠足が行われた。目的地は
伐株山。標高六八五・五メ
ートル。万年山と並んで玖
珠町のシンボルの存在であ
る。新入生を含め、全校生
徒が参加した。出発前に安
全上の諸注意を聞いたあ
と、三年六組を先頭に出発
した。

当日は天候に恵まれ、青
空の下、友人と話したり、
他学年と交流を深めたりす
る姿が見られた。

目的地に到着してから
は、生徒会企画「人数合わ
せ」が行われた。学年ごと
に決められた、お題の人数
でグループを作った。一回
戦目で、三年生一人、一、



笑いの絶えない ジェスチャーゲーム

二年生二人ずつというお題
で、多くの三年生が脱落し
た。最後まで残った生徒に
は、商品のお菓子が贈呈さ
れた。

続いて、「宝探し」が行
われた。会場の様々な場所
に隠されたくじを生徒が見
つけ、二重丸が抽かれたく
じを見つけた生徒が、景品
を獲得した。また、はずれ
た生徒にも、餞が配られた。
続いての「ジェスチャー
ゲーム」では、各クラスか
ら次々と代表者が出て、お
題にそってジェスチャー。
クラス全員が解答者となっ
た。普段は見られない級友
の動きに、生徒からも笑い
が起こった。

ジェスチャーゲームの
後、三年生は各クラスの集
合写真を撮影した。その後、
各自で昼食をとった。昼休
憩には、ブランコなどのア
スレチックで遊ぶ姿が見ら
れた。また、体育科の先生
方が用意した、サッカーボ
ールで遊ぶ生徒もいた。

帰校前には、学年ごとに
決められた区間のゴミ拾い
を行った。本校最初の歓迎
遠足は、快晴の遠足日和で、
全校の親睦を深めるものと
なった。

宿合教育 集団の中で学ぶ自律 これからの活躍に期待

四月二十一日(火)から
二十三日(木)までの三日
間、大分県立香々地青少年
の家にて、一年生の教育合
宿が行われた。

今回の教育合宿は、三つ
の目的のもと、実施された。
一つ目は、集団生活を通し
て社会性を身に付ける。二
つ目は、玖珠美山高校の一
員としての自覚を持ち、高
校生として望ましい生活・
学習態度を身に付ける。三
つ目は、生徒相互・教師と
生徒の触れ合いを大切に
し、共同生活を通して相互



協力から生まれる絆

おいでよ新入部員!

部活は人生の大きな財産

美山高校
には、運動
部十二、文
化部十一、
同好会一
の、計二十
四の部活
がある。
新学期が
始まり、各
部による新
入生の勧誘
が行われて
いる。既に
入部届けを出
したという
女子生徒は、「先
華たちの格好
良い姿を見て、
入部しようと思
った」と話
してくれた。
特別活動主任
の木村先



部員求む!

理解を求めることだ。ABC
Cプログラムや集団行動な
どで、新しい仲間と協力し、
集団で行動することの難し
さ、また、ふれあいの大切
さなどを学んだ。また、ホ
ームルームの時間を利用し
て、これからの課題を見つ
け、各クラスの目標を決め、
模造紙に書いた。二日目に
行われたABCプログラム

では、ABC野外教育セン
ターの方々を中心に、クラ
スで多くの仲間と関わり、
絆を深めるための交流をし
た。教育合宿を終えた男子生
徒に感想を聞くと、「合宿
を通して、仲間と交流した
ことや、学んだ皆さんの
ことを活かして、これから
の高校生活を充実したもの
にした」と話してくれた。

開校式に始まり、始業
式、入学式、歓迎遠足な
ど、この玖珠町に美山高
校という花が咲いて数週
間、新しいことばかりの
学校生活に、てんてこま
いな日々が続いている。
そんなめまぐるしい毎日
の中にも、どこにかす
かな喜びを感じている▼
「四十八歳カズ、最年長
得点記録をまた更新」と
いう記事を新聞で見かけ
た。J2最高の、四十八

楠の木

彼の一か月二十四日。他で
類を見ない、異例のサツ
カー選手だ。十七歳でフ
ロ入りを果たし、カズと
呼ばれる三浦知良さん。
「キングカズ」の名を廃
らせることなく、これか
らも先頭に立って、ゴー
ルを目指して欲しい▼こ
れから、新たな歴史を刻
んでいく玖珠美山高等学
校。この学校の未来には、
何が待っているのか。そ
れを伝えていく新聞部で
ありたい。